□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

残像

Afterimage

巨匠アンジェイ・ワイダ監督、心震わす渾身の遺作！

第二次世界大戦後、ソヴィエト連邦の影響下におかれたポーランド。
スターリンによる全体主義に脅かされながらも、
情熱的に創作と美術教育に打ち込む
実在の前衛画家ヴワディスワフ・ストゥシェミンスキが、
自らの信念を貫き、闘う姿を描く。

人はそれでもなお、信念を貫けるのか。

アンジェイ・ワイダ監督作品

監督：アンジェイ・ワイダ　脚本：アンジェイ・ワイダ、アンジェイ・ムラルチク
撮影：パヴェウ・エデルマン　出演：ボグスワフ・リンダ、ゾフィア・ヴィフワチ
後援：ポーランド広報文化センター　提供：ニューセレクト
配給：アルバトロス・フィルム　宣伝：テレザ、ポイント・セット
2016年｜ポーランド｜ポーランド語｜99分｜カラー｜シネスコ｜5.1ch｜DCP
原題：Powidoki｜英題：Afterimage

zanzou-movie.com

2008年アカデミー賞外国語映画賞ノミネート作品　2008年ベルリン映画祭正式出品作品
明日を生きていく人のために
そしてあの日 銃身にさらされた
愛する人のために
アンジェイ・ワイダ監督
カティンの森
第二次世界大戦下、一万五千人の将校が忽然と行方不明になった――。
ポーランドの人々が半世紀にわたり沈黙をしいられた知られざる真実。巨匠ワイダが万感の思いで世界に放つ。
12月5日(土)より岩波ホールにてロードショー!
R15+

□□□

□□

□□□□□□□□□

□□□□□□□□□

キジムナー
Kijimuna
ヒトは友の死に涙したとき人になった
作:田中 暢 / 脚本・演出:佐竹啓之 / 振付・演出:石橋寿恵子 / 音楽:Matsunobu
公演日/2017年5月
20日(土)埼玉会館 大ホール(さいたま市) 開場 17:30 開演 18:30
21日(日)埼玉会館 大ホール 開場 13:00 開演 14:00
27日(土)たましん RISURU ホール 大ホール(立川市) 開場 13:00 開演 14:00
(財)立川市地域文化振興財団共催 開場 17:00 開演 18:00
チケット料金(全席自由) 一般 2500 円 / 高校・大学生 2000 円 / 中学生以下・障がい者 1500 円
(当日券は各 300 円増し)
※1歳以上保育あり(1週間前までに要予約)保育料1人 500 円・手話通訳あり
埼玉 × 三多摩憲法ミュージカル

□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□

□□□

□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□